



華となれ!

宮城県仙台二華中学校

学校だより 第3号

【発行日】 令和4年5月9日

【連絡先】 022-296-8101

【文責】 副校長 大泉 真澄

【校訓】 『進取創造』『至誠貢献』

【教育方針】 豊かな心と高い知性を持ち、進取の気風と創造性にあふれ、社会のリーダーとして、わが国や世界の発展に貢献できる人間を育成する。

※題字「華となれ!」には、社会に貢献できる真のリーダー（「華」=社会の中心）となってほしいという願いを込めています。

泉ヶ岳 ～校外学習 中1生SR巡検 春の息吹を感じて～

4月26日(火)にオーエンス泉ヶ岳周辺において、1年生のSR(サイエンティフィック・リサーチ)巡検を無事終えることができました。

当日は午後から雨の予報で心配しましたが、生徒たちが活動している間、天気は持ちこたえ活動が終了したのを見計らったかのように、雨が降り出しました。

以前この行事は1泊2日で計画をしていましたが、新型コロナウイルス感染症の予防策も考慮し、活動内容を精選し、日帰りで実施しました。オーエンスに到着し、クラスごとに記念撮影をした後で、担当教員から指示を受けて早速活動を開始しました。

生徒たちは入学後初めての探究活動に満足そうな表情で一日を過ごしていました。



「我々の木」の観察

午前「我々の木」の観察です。生徒たちはグループで話し合いながら、1本の木を選定し、観察していきます。胸高直径を測り、根元近くの地面に40cm四方のコードラートを作り、地表面も観察します。観察の中で生徒たちは、「少なくとも2つの方法で樹高を計測しなさい」という課題が一番苦勞していました。木の全体を写真に収めて、手に持った2mの棒と比較したり、三角比を利用して測ったりと、各班とも工夫しながら樹高を計測していました。



採集した安山岩は、理科の地学分野の授業で本格的に観察をします。

午後は、オーエンス泉ヶ岳から20分ほど山を登り、「関口」で安山岩採集をしました。この地域にある石は、ほとんどが安山岩ですが、この関口付近にはごくまれに玄武岩が存在します。

石の表面は風化して観察には適していないことから、生徒たちは岩石採集用のハンマーで、石を割って観察をします。生徒たちは、授業中に教えられた安山岩の特徴に合致する石を一生懸命に探していました。

何回も石を割って観察し、花松先生の鑑定に生徒たちは、一喜一憂していました。



地学専門、本校非常勤講師の花松先生から安山岩の「鑑定」を受けます。

中2生 5月17日(火)の北上川フィールドワークに向けて

今年度も、4月28日(木)元 東北大学 大学院農学研究科 伊藤 絹子先生に来校いただき、「自然から学ぶ生命のいとなみと私たちの環境 ～汽水域生態系を例として～」と題して講義を行っていただきました。

伊藤先生から「ヒトを含めて全ての生物は、自然のシステム、すなわち、水や物質の循環・太陽エネルギーを基点とする生態系に依存しなければ生命を維持できないという基本認識の大切さや、身近な自然に少し目を向けるだけでも多くのことを学ぶことができること。忙しい日常のなかでは目の前の問題に心を奪われがちだが、大切にしたいことは何か、一人一人がそれぞれの立場で考えてほしい」とのメッセージをいただきました。生徒たちは、興味津々、集中して講義を受けていました。



↑ 伊藤先生の講義の様子 山田先生の講義の様子 →

また、5月2日(月)には、NPO法人環境生体工学研究所理事で東北工業大学工学部 環境応用化学科 教授 山田一裕先生に来校いただき、「北上川河口のヨシ原を知ろう」と題して講義を行っていただきました。

日本の水環境の問題からはじまり、ヨシ原についてのお話は初めて聞く内容が多く、生徒たちは目を輝かせて山田先生の話に耳を傾けていました。

